

令和 8年度予算見積調書

課室名：森づくり課
 担当名：木材利用推進・林業支援担当
 内線：4320 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
P88	県産木材需要拡大事業				一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	木材利用拡大対策事業費	
事業期間	令和 5年度～令和 9年度	根拠法令	森林・林業基本法、脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律				針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1203 林業の生産性向上と県産木材の利用拡大	SDGsゴール SDGsターゲット	11, 12, 15 11-a, 12-8, 15-1,
1 事業概要 従来の公共施設の木造化・木質化に加え、民間事業者に対する県産木材利用促進を図る。 また、県、市町村、民間事業者における建築物木材利用促進協定の締結等により、市町村の森林環境譲与税を活用した県産木材利用を促進する。 都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業 22,649千円					5 事業説明 (1) 事業内容 都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業 木造建築技術アドバイザー制度運営及び木造建築に関する情報発信等 22,649千円 (2) 事業計画 都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業 ア 木造建築技術アドバイザー制度運営 相談窓口の設置、木造建築技術アドバイザーの派遣、地域の木材情報収集及び木造建築関係者間の調整業務 イ 県産木材利用の理解促進 (ア) 木材及び木造建築に係る情報収集・情報提供、(イ) 木材利用促進活動の実施・普及啓発に対する支援 ウ 講習会等の開催…一般流通材、新しい耐火部材、CLT等の新技術、新工法等の講習会等開催 エ 県産木材の利用環境整備 (ア) 市町村、設計者、木材産業関係者等の連携促進、(イ) J A S 製材品の普及促進 (ウ) 木製品展示会に係る負担金、(エ) 「さいたま県産木材認証制度」の運営や研修等に係る経費の助成 オ さいたまWoodマッチング…県産木材製品取扱事業者等と市町村をつなげるプラットフォームの運営 (3) 事業効果 県産木材の供給量 令和3年度：85,000m3 → 令和8年度：120,000m3 【活動指標(アウトプット)】アドバイザー派遣(29件)、プラットフォームの運営 【成果指標(アウトカム)】・県産木材を利用した公共施設数(令和8年度目標値(累計)1,480件) ・公共施設、民間非住宅の県産木材利用量増 公共施設 令和8年度：500m3、民間非住宅 令和8年度：530m3 ・県産木材の製材・製品需要の増加 ・県産木材供給量の増加 ・都市部市町における森林環境譲与税(累計)の執行率 令和9年度：65.0%					
2 事業主体及び負担区分 ア、イ(ア)、ウ、エ(ア)(イ)(ウ)、オ(県10/10) イ(イ)(県4/10)事業者6/10、エ(エ)(県1/2)事業者1/2										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10人=95,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との対比
		繰入金								
決定額	22,649	22,649							0	△9,714
前年額	32,363	31,992							371	

事業内訳書

事業名	県産木材需要拡大事業		
単位事業名	都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業	予算額	22,649千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 森林環境譲与税基金繰入金	22,649	△9,343	
合計	22,649	△9,343	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	120	△12	講師謝金 6回分
旅費	435	40	出張旅費
需用費	285	100	事務用品等消耗品、ガソリン代、広報物作成代
役務費	217	△12	切手代、講師手数料
委託料	18,782	△9,484	木造建築アドバイザー制度運営、さいたまWoodマッチング支援事業
使用料及び賃借料	358	45	会場使用料、大型バス借り上げ料1台

単位事業名	都市と山をつなぐ木造施設整備支援事業	予算額	22,649千円
-------	--------------------	-----	----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	2,452	△20	木材利用促進活動の実施・普及啓発に対する支援
合計	22,649	△9,343	